



# ひまわり通信

毎日暑い日が続いていますね。7月は「ひまわりが咲いた！」という喜びの声が全国から寄せられました！  
今月もひまわりプロジェクトに関する情報をお伝えしていきたいと思ひます！

## ✿岡山県笠岡市との交流✿

福島「子どもひまわり大使」が岡山県笠岡市に！



7月31日～8月4日、協力団体の笠岡市の皆さんとの交流のため、福島の「子どもひまわり大使」が岡山県の笠岡市に訪問しました！今回は本土だけでなく瀬戸内海に浮かぶ島々へも訪れましたが、迎えてくださった方々は皆さん明るく優しい方々ばかりで、はじめは緊張していた子どもたちも交流していくうちに満面の笑顔になっていきました。龍谷高校と大島中学校の皆さんと海で遊んだり、新鮮な海の幸をご馳走していただいたりと、東北の内陸部に住む子どもたちが普段経験できないようなことばかりで、皆目を輝かせて5日間を過ごしていました。

8月3日には、50万本のひまわりを背景に、「ひまわりフェスティバル」が行われ、笠岡市が福島を想う気持ち、福島から笠岡市への感謝の気持ちが互いに伝えられました。こちらでご紹介できないほどの体験をさせていただきました。温かく迎えてくださった笠岡市のみなさん、本当にありがとうございました！



## ✿全国の皆さんの活動紹介✿

全国各地でひまわりが咲いています！！

日本全国から届いた皆さんの活動の様子をご紹介します！

### ◆神奈川県のご協力者様

神奈川県のご協力者の方から、緑同好会の方々と共に育てていただいているひまわりお写真をいただきました。種が詰まっているのか、重たそうに下を向いています！種の収穫も緑同好会の皆さんで行ってくださるそうで、今から収穫を楽しみにされているとのこと。



### ◆長野県のご協力者様



長野県のご協力者様からお写真をいただきました。8月初旬のお写真ですが、こちらのひまわりも頭を重そうにしていますね！

この方も地域の方々と一緒に栽培活動をされており、皆さん楽しんで活動してくださっているそうです。このひまわりを見た方々もきっと笑顔になったでしょうね。



## 種々の収穫に向けて

### 種の収穫について再確認！

晩夏を迎え、種の収穫についてのお問い合わせが続々と届いております。これから収穫を迎えられる方も大勢いらっしゃるかと思いますので、収穫についてご紹介させていただきます。

#### ●収穫の適期・方法



収穫は秋口、少なくとも花が下を向き、実が黒くなるまで待つこととなります。立ち枯れが始まり、花柄（所謂“首”の部分）の裏側が黄色くなり、実が乾燥した頃が適期と言われます。ただし、あまり長く放置すると、鳥害・病気による被害が発生するので、額を見てみて種が減ってきているようなら収穫を開始してください。収穫は、必ず晴天の日に行います。前日が雨天だった場合など、花がしめった状態で刈り取ると、かなりの確率でカビてしまいます。

花柄の手前の茎 10センチほどを残した状態で（後で種を外す際に持ちやすくなります。）、花柄をはさみで切り取り収穫します。収穫後、畑に残った茎と葉は、鋤き込んでしまえば畑の栽培肥料にすることができます。

#### ●採種に向けての準備

収穫後はただちに種を採らず、まずは花柄ごと乾燥させます。風通しが良い物置や倉庫、または屋外（この場合、鳥害や雨に気をつけてください）に新聞紙やシートなどを敷き、刈り取った花柄をきれいに並べて数日間乾燥させます。できるかぎり、一日おきに裏表をひっくり返し、まんべんなく乾燥させます。きちんと乾燥させないとカビが発生し、せっかくの収穫物が台無しになってしまいますので、ご注意ください。花柄が干からびて水分が無くなったら種とりに移ります。

#### ●採種の方法

＜少量の場合＞ - - - 花柄を持ち、種子の付いている面を、大型のふるいなどにこすりつけるようにして種子をとります。また、100円ショップなどで販売しているシャンプーブラシを使うというやり方でも楽に種を取ることができます。このとき、油分の付着による汚れや怪我の心配があるので、軍手をしてください。

＜大量の場合＞ - - - 大規模に栽培をして頂いて多量のひまわりがとれた場合、その種を取る作業も大仕事になります。手作業でこれを行うのは大変困難ですので、道具の利用をお勧めします。一昨年の長野県の参加者様のやり方をご紹介させていただくと、古くなったまな板などに釘を多数打ち付けたものを用意し、それにひまわりの実をこすりつけると種は簡単に外れるとのことでした。



他にも、古くなった洗濯機のモーターにゴム板を固定し、それを回転させながらこすりつけてとるなどのやり方もあります。

いずれの場合も、種に花の周りの柄や葉の破片が混じるかと思いますが、大量の場合、唐箕がけの機械などが無ければ除去は困難ですので、ある程度大きな破片を除いていただだけでも構いません。

採れた種がなお湿っぽい場合は、種をなるべく重ならないよう新聞紙の上などに平らに敷いて乾燥させてください。

いよいよ収穫の時期となりましたね。皆さんが大切に丹精込めて育ててくださったひまわりの種が無事こちらに届くことを楽しみにしております！



### ●ひまわり感謝祭 2014●12/20(土) 10:00~16:00 MAX ふくしま 4 階 A・0・Z (福島県福島市曾根田町1-18)にて

今年もひまわり感謝祭を開催いたします。恒例の「共に生きる仲間たちのコンサート」や、ひまわり写真・絵画展、授産品即売会、更に、笠岡市をはじめ全国との地域間交流の報告・交流会なども予定されております。（※今年のひまわり写真・絵画についてはコンテストではなく、展示のみとなります。）ご協力者の皆様には、感謝祭開催の詳細や作品の募集について後日改めてご連絡を差し上げます。



ひまわりプロジェクトに関するお問い合わせ・・・電話：024-524-2230 FAX：050-3473-5495  
メールアドレス：yukari.k@nposhalom.net

ひまわり栽培に関するお問い合わせ・・・電話・FAX：0243-23-2204  
（携帯電話：090-8788-8781）

※高宮さんより…農作業中等のため出られないときはご容赦願います。出来るだけ早く折り返し連絡致します。

編集：NPO 法人シャロームひまわりプロジェクト担当 川島ゆかり

